作成いただくミニテストについて

九州がんプロ養成基盤推進プランの講義にご協力いただきありがとうございます。
さて、本プランでは、授業内容を各大学間で相互に利用して、がんプロコース聴講者が
コンピュータを用いて学習するeラーニングシステムを構築することになっております。

以下の項目を満たすミニテストをご作成ください。
ミニテストは映像終了後に学習内容を確認する目的で行われます。

・1つの講義について5から10問の問題とその回答を作成ください。
・正誤問題または多肢選択問題を作成してください。

例1　5つの中から正しいものを2つ選んでください。
例2　5つの中から誤っているものを選んでください。
　　答えが複数存在する場合もあります。
例3　XXXXは○○○○である。正か誤か選んでください。

※受講の到達度を確認するためのテストです。
　多職種(がん薬物療法専門医を目指す医師、看護師、薬剤師等)が
　解けるような講義内容に即した問題をご作成ください。

1行目の内容は変更しないでください

番号	問題	解答
1	臨床研究に際しての利益相反がもっとも問題になるのはどれか。	5
	企業主催の講演会で、その企業の薬物の長所を述べる。	誤
	学生講義で、各企業の薬物の長短を比較する。	誤
	医師会の講演会で、特定企業の薬物の批判をする。	誤
	市民公開講座で、薬物療法の発展について講演する。	誤
	学会の教育講演で、自らが治験をした薬物の利点を述べる。	正
2	臨床研究を実施する研究者にとって利益相反の開示が不要な項目はどれか。	5
	大学で受ける寄付金	誤
	企業から受け取る講演料	誤
	訴訟での証言（専門的コメント）に際して企業から受け取る謝礼	誤
	共同研究をするベンチャー企業の持ち株	誤
	所属組織（病院等）で受け取る給与	正
3	利益相反とは、学会活動や臨床研究の実施にあたって、適切に責任が果たされていないという事実を指すものである。	誤
4	ベンチャー企業の設立と出資には、利益相反の開示が特に必要になる。	正
5	学会活動において、専門医試験委員やガイドライン作成委員、プログラム委員は利益相反が深刻になる業務である。	正

多肢選択問題の場合、
選択肢の数を記入ください

各選択肢の正誤を
それぞれ記入ください

正誤問題の場合、
各問題の正誤を
それぞれ記入ください